

平成29年度 日本史A・日本史B (50分)

注意事項

- 1 試験開始の合図があるまで、この問題冊子の中を見てはいけない。
- 2 出題科目、ページ及び選択方法は、下表のとおりである。

出題科目	ページ	選 択 方 法
日本史A	1～24	
日本史B	25～46	左の2科目のうちから1科目を選択し、解答しなさい。

- 3 試験中に問題冊子の印刷不鮮明、ページの落丁・乱丁及び汚れ等に気付いた場合は、手を挙げて監督者に知らせること。
- 4 試験開始の合図前に、監督者の指示に従って、解答用紙の該当欄に以下の内容をそれぞれ正しく記入し、マークすること。
 - ・①氏名欄
氏名を記入すること。
 - ・②受験番号、③生年月日、④受験地欄
受験番号、生年月日を記入し、さらにマーク欄に受験番号(数字)、生年月日(年号・数字)、受験地をマークすること。
 - ・⑤解答科目欄
解答する科目名を○で囲み、さらにその下のマーク欄にマークすること。
- 5 受験番号、生年月日、受験地が正しくマークされていない場合は、採点できないことがある。
- 6 解答科目が正しくマークされていない場合は採点できないので、必ず正しくマークすること。
- 7 解答は、解答用紙の解答欄にマークすること。例えば、解答番号が **10** である問い合わせに対して②と解答する場合は、次の(例)のように解答番号 10 の解答欄の②にマークすること。

(例)

解答番号	解 答 欄
10	① ② ③ ④

- 8 問題冊子の余白等は適宜利用してよいが、どのページも切り離してはいけない。
- 9 試験終了後、問題冊子は持ち帰ってよい。

日本史 B

(解答番号 1 ~ 30)

- 1 次の文章 I・IIを読み、後にある各問い合わせよ。

I

日本列島では、古代国家の形成が次第に進んでいった。5世紀には、ヤマト政権が支配領域を拡大させ^(a)、この領域は7世紀半ばから9世紀初めにかけて、さらに律令国家によって拡大された^(b)。平城京に都がおかれた^(c)時代には、律令国家は、松原や能登(注)を通して A と友好的な関係を築くようになっていた。

注：松原(福井県)や能登(石川県)には、大陸からの使節を迎えるための施設が設置された。

II

近世には、現在の北海道にあたる地域で^(d)、大名 B 氏がアイヌとの交易を行った。

問 1 A B に当てはまる語の組合せとして正しいものを、次の①~④のうちから一つ選べ。解答番号は 1 。

- | | | | |
|------------|------|------------|------|
| ① A—渤海 | B—松前 | ② A—渤海 | B—伊達 |
| ③ A—刀伊(女真) | B—松前 | ④ A—刀伊(女真) | B—伊達 |

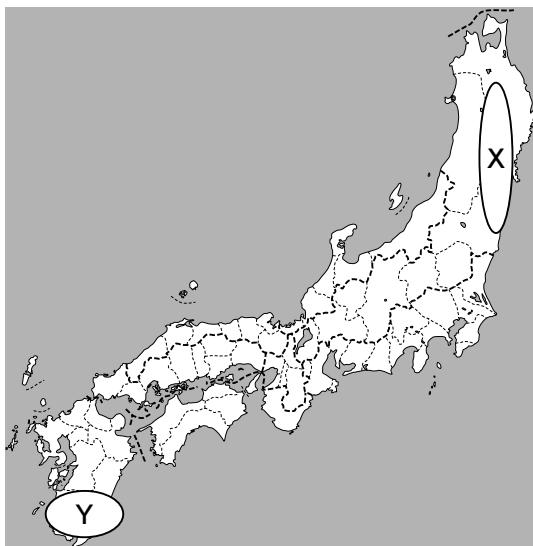
問 2 下線部分ヤマト政権が支配領域を拡大させたことを示す例として適切なものを、次の①~④のうちから一つ選べ。解答番号は 2 。

- | | |
|--|--|
| ① 島根県の荒神谷遺跡から、3種類の青銅製祭器が出土した。 | ② 長野県の野尻湖に関する調査から、大型動物が日本列島に存在していたことがわかった。 |
| ③ 熊本県の江田船山古墳から、雄略天皇にあたる大王の名が記された鉄刀が出土した。 | ④ 奈良県の法隆寺に関する調査から、現在の伽藍 ^{がらん} が再建されたものであることがわかった。 |

(B)

問 3 地図中の地域 X・Y は、下線部分律令国家によって拡大された領域の一部を示したものである。地図中の地域 X・Y とその説明について述べた文ア・イの組合せとして正しいものを、下の①～④のうちから一つ選べ。解答番号は 3。

地図



- ア 豪族の磐井がおこした反乱が鎮圧され、直轄地である屯倉が設けられた。
イ 蝦夷の征討のために、鎮守府が設置され、征討が進むにつれて移転した。

- ① X—ア ② X—イ
③ Y—ア ④ Y—イ

問 4 下線部分平城京に都がおかれていた時期におこったできごとについて述べた文として正しいものの組合せを、下の①～④のうちから一つ選べ。解答番号は 4。

- ア 藤原不比等の娘を皇后に立てることに反対した長屋王が、死に追い込まれた。
イ 文人官僚の菅原道真が、藤原氏北家によって政界を追放され、大宰府に赴任した。
ウ 遣唐使に随行した玄昉が、帰国後に橘諸兄のもとで活躍した。
エ 遣唐使に随行した最澄が、帰国後に天台宗をひらき比叡山の延暦寺を拠点とした。

- ① ア—ウ ② ア—エ ③ イ—ウ ④ イ—エ

問 5 下線部分現在の北海道にあたる地域について述べた文ア～ウを、年代の古い順に正しく並べたものを、下の①～④のうちから一つ選べ。解答番号は 5。

- ア この地域でとれるものが、中国向けの輸出品として俵物に加工された。
イ 石狩地方に和同開珎がもたらされるなど、北海道と本州との交易・交流が行われた。
ウ 北海道の南端部に進出した本州の人びとが、館を拠点に中国錢を用いた交易を行った。

- ① ア→イ→ウ ② ア→ウ→イ ③ イ→ア→ウ ④ イ→ウ→ア

2 次のI～III(意訳してある)を読み、後にある各問いに答えよ。

I

平清盛公のご子息といったならば、たとえ上層貴族の名門であろうとも、肩を並べて面と面を向かい合わそうとする者はいない。……今、日本全国を見ると、すべてで66カ国であるが、その中で平家が知行する国は30余りで、その過半数を占めている。その他、平家が所有する荘園や田畠となると、総数がはっきり分からぬほど多いようである。
(a)

(『平家物語』により作成)

II

畿内の民衆が蜂起した。徳政を主張し、酒屋、土倉、寺院などを壊し、勝手に物を持ち去り、借金を全て勝手に帳消しにした。管領の畠山満家がこの騒動を収めた。国が滅ぶような原因で、これに勝る物はない。日本の歴史が始まって以来、民衆の蜂起は初めてである。

(『大乗院日記目録』により作成)

III

堺の町はとても広く、富裕な商人が多くいる。この町は、ヨーロッパのヴェニス市のように**(b)**執政官によって治められている。

(『耶穌会士日本通信』により作成)

問1 I～IIIに記載された内容を、年代の古い順に正しく並べたものを、次の①～④のうちから一つ選べ。解答番号は **6** 。

- ① I→II→III ② I→III→II ③ II→I→III ④ II→III→I

問2 Iで示されているころの中国との関係について述べた文として最も適切なものを、次の①～④のうちから一つ選べ。解答番号は **7** 。

- ① 中国への正式な使節派遣が停止され、中国の王朝との国交が途絶えた。
② 中国との貿易を推進するために、摂津国の大輪田泊を修築した。
③ 中国から僧侶が来日し、東大寺などの寺院を復興させるために活躍した。
④ 中国との貿易に関しては、正式な貿易船であることを示す勘合が使われた。

問 3 下線部分知行する国について述べた説明文の **A** **B** に当てはまる語の組合せとして正しいものを、下の①～④のうちから一つ選べ。解答番号は **8** 。

(B)

説明文 知行国の制度とは、上級貴族にその国からの収益を与えるしくみで、上級貴族には、**A** を推举する権利も与えられた。鎌倉幕府を創設した源頼朝も上級貴族の1人であり、彼は、このしくみによって **B** からの収益を得ることができた。

- ① A—莊 官 B—莊 園
③ A—國 司 B—莊 園

- ② A—莊 官 B—公 領
④ A—國 司 B—公 領

問 4 Ⅱについて述べた文として誤っているものを、次の①～④のうちから一つ選べ。

解答番号は **9** 。

- ① Ⅱの「酒屋、土倉、寺院」は、このころ金融業を営んでいたと考えられる。
② Ⅱによると、「徳政」とは、所領の取り戻しを無償で認めることだとわかる。
③ Ⅱの「管領」とは、畠山氏などの有力守護が務めた、將軍の政務を補佐する職である。
④ Ⅱによると、この資料の執筆者は、「民衆」の蜂起が国を滅ぼしかねないと考えていた。

問 5 下線部分堺について述べた文として正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。

解答番号は **10** 。

- ① 後醍醐天皇など大覚寺統が拠点とし、南朝の正統性を主張した。
② 源範頼・源義経が率いる軍勢により平氏が滅亡し、安徳天皇が入水した。
③ 有力な商人である会合衆の自治のもと、鉄砲の生産地としても栄えた。
④ 応仁・文明の乱の舞台となった地で、町衆の自治によって祇園祭が再興された。

3

次のⅠ・Ⅱに関連する文章を読み、後にある各問いに答えよ。

I

		当角力の骨 古今の大当たり大力士	
		芸州 星野良悦	
スケ	當時在府二付	東 関脇 大関	作州 宇田川玄真
か	長崎 本家 楠林重兵衛	小結 東 関脇 大関	稻村三伯 石川玄徳
	當時在府二付	前頭 前頭 前頭	吉川宗元 吉田佐公
	長崎 本家 楠林重兵衛	江戸 池田七左衛門	前頭 前頭 前頭
	當時在府二付	浜田 江戸	大坂 江戸
あ	方 前頭 前頭 前頭	西 関脇 大関	西 関脇 大関
	江戸	大坂 土浦	大坂 土浦
	前頭 前頭 前頭	小結 前頭	小結 前頭
	江戸	石井庄助 山村才助	石井庄助 山村才助
	前頭 前頭 前頭	橋本宗吉 岩田松碩	橋本宗吉 岩田松碩
	江戸 江戸 江戸	岡田甫説 土岐寛庵	岡田甫説 土岐寛庵
	前頭 前頭 前頭	前頭 前頭 前頭	前頭 前頭 前頭
	江戸 江戸 江戸	白川 庄内	白川 庄内
え	行司 行司	石井文十良 近藤良儀	石井文十良 近藤良儀
	桑名候	桐山正哲	桐山正哲
	同	福知山侯	福知山侯
い	年 寄 杉田玄白 年 寄 杉田玄白	前野良沢 元 進 桂川甫周	前野良沢 元 進 桂川甫周
	同	桂川甫謙	桂川甫謙
	同	桂川甫謙	桂川甫謙
う	江戸 江戸	高嶺嶺春泰	高嶺嶺春泰
	同	同	同
	同	同	同
	同	同	同
	同	同	同
	同	同	同
お	同	同	同
	同	同	同
	同	同	同
	同	同	同
	同	同	同
お	同	同	同
	笠間	因尾	山形
	仙台	江戸	米沢
	奥州	豊前	桑島貞伯
	大坂	中津	若尾宗順
	吉岡良珉	立宗	吉岡良珉
	木村多吉良	立栄	木村多吉良
	永井元庵	本雲丈	永井元庵
	佐野甫察	立見	佐野甫察
	大野	立見	大野
い	江戸	大根	大根
	江戸	玄	玄
	江戸	星	星
	江戸	野	野
	江戸	良	良
	江戸	悦	悦

番付4 蘭学者相撲見立番付（翻刻）



B

洋学は、オランダ通詞(注1)によるオランダ語の学習、すなわち蘭学として始まった。興隆したきっかけは、8代将軍徳川吉宗が漢訳洋書の輸入の禁を緩和し、江戸で青木昆陽らにオランダ語の習得を命じたことによる。その後、医学・天文学・地理学などの分野で大いに発展した。

I の相撲番付表(注2)は、18世紀の終わりころの江戸で活躍していた洋学者(蘭学者)たちを力士に見立てて記したものである。I の A には、作成日は「皇朝寛政戊午歳十一月二十六日」、A 暦にすると「大西洋壱千七百九十八年」の「ニューウェヤールダク」とある。これは、日本語の元日を意味するオランダ語である。いの勧進元(注3)に書かれた人物の私塾では、A 暦の元日には II の様に B を使った食事で祝う会(新年会)を開いており、I はその会の中で作られたといわれる。I の C ことなど当時の洋学興隆の様子も考察できる。

しかし、盛んになった洋学に対して、幕府による様々な弾圧も行われることとなった。

注1：オランダとの貿易で通訳と税関吏とを兼ねた役人。

注2：力士を東方と西方とに分け、表の右上から大関・関脇・小結・前頭と地位の高い順に記した表のこと。

注3：芸能・相撲など興行一般の興行主・主催者。

問1 江戸時代の日本で、幕府が海外情報を入手した様子について述べた文として適切でないものを、次の①～④のうちから一つ選べ。解答番号は 11 。

- ① 潜入した宣教師に対する尋問で得た知識をもとにした書物が著された。
- ② オランダ人が入手した海外情報が、商館長提出の風説書としてまとめられた。
- ③ 日本から公式使節が中国に派遣され、大陸の文物が輸入された。
- ④ 日本に送還された漂流民に対する尋問で得た知識をもとにした書物が著された。

問 2 A B に当てはまる語句の組合せとして最も適切なものを、次の①～

④のうちから一つ選べ。解答番号は 12 。

- | | |
|----------|------------|
| ① A—太 陽 | B—ナイフやスプーン |
| ② A—太 陽 | B—箸 |
| ③ A—太陰太陽 | B—ナイフやスプーン |
| ④ A—太陰太陽 | B—箸 |

問 3 C に当てはまらないものを、次の①～④のうちから一つ選べ。

解答番号は 13 。

- | |
|---|
| ① 出身地の欄を見ると、江戸や大坂をはじめ様々であることから地域をこえて洋学が広がっていた |
| ② <input type="checkbox"/> う を見ると、弟子の指導にあたる「年寄」の欄に『解体新書』作成者が記入されていることから、その功績が評価されていた |
| ③ <input type="checkbox"/> え の行司や <input type="checkbox"/> お の西方の前頭 <small>にしがた</small> の欄を見ると、大名を示す「侯」の記載もあり、身分を問わず洋学が広がっていた |
| ④ <input type="checkbox"/> か を見ると、「本家」の記載から洋学の発祥地が江戸であったと考えられていた |

問 4 下線部分漢訳洋書の輸入の禁を緩和した背景について考えた時に、次の D に当

(a) てはまる語句として最も適切なものを、下の①～④のうちから一つ選べ。

解答番号は 14 。

生糸や砂糖、朝鮮人参などの海外からの商品が、国内で大量に消費されていた。

↓

支払い用の金・銀の流出額を抑えるために、長崎での貿易量制限が必要となる。

↓

実学を取り入れることによって、 D ことが可能となる。

- | |
|----------------------|
| ① 株仲間を公認して運上・冥加を徴収する |
| ② 産業を興して輸入品の国産化を実現する |
| ③ 礼儀を重んじて社会秩序を正す |
| ④ キリスト教の禁止を徹底する |

問 5 下線部分様々な弾圧をした**理由**と弾圧の例の組合せとして最も適切なものを、下の①～④のうちから一つ選べ。解答番号は **15**。

(B)

理 由

- ア 幕府に対する批判的な学問となる危険性を除き、幕府が独占的に利用するため。
イ 民権議院設立を求める運動が拡大することを防ぐため。

例

- ウ 海防の必要性を説いた林子平が処罰された。
エ 農民の訴訟を支援したとして河野広中が検挙された。

① ア—ウ

② ア—エ

③ イ—ウ

④ イ—エ

- 4 ある家に残されていた明治時代の小学校の卒業証書(人名は [] で伏せてある)を調べた生徒のレポートを見て、後にある各問い合わせに答えよ。なお、問5は甲～丙の全てに関わる問い合わせである。

甲

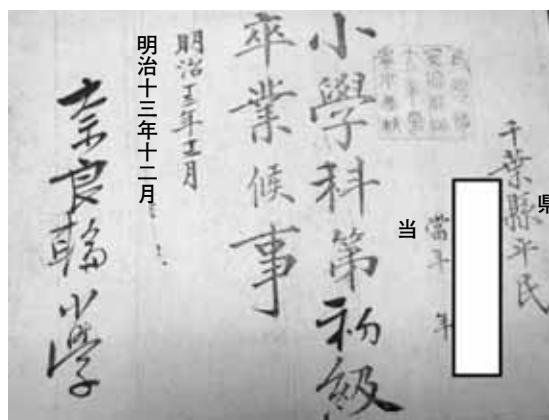
明治政府は、明治5(1872)年に学制を発布し、全国を分割したそれぞれの学区に大学校・中学校・小学校の設置を計画しました。性別や族籍(注1)を問わず国民皆学を目指しましたが、実態と合わせて通学率(注2)は30%を下回ったといわれます。

I・IIは、この家で最初に明治時代の小学校を卒業した人物の卒業証書です。学制の時期のものではなく、明治12年に発布された教育令が改正された後のものでした。見てみると、[A] ことが読みとれます。これは、低い通学率への対応から、半年ごとに実施される試験に合格すると卒業が認められていたことも理由にあるようです。

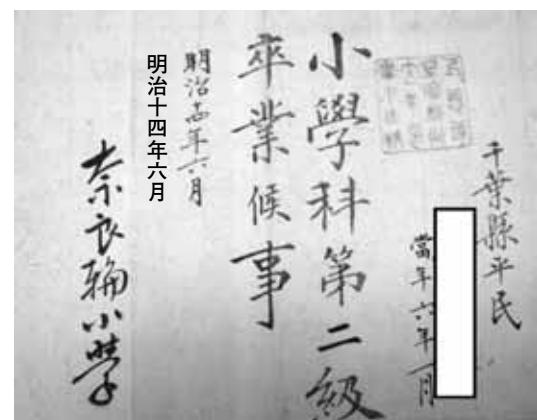
注1：戸籍簿に記載された華族・士族・平民などの身分。

注2：就学年齢に達していて、実際に小学校に通学している子供の割合。

I



II



- 問1 [A] に当てはまる語句の正誤の組合せとして適切なものを、下の①～④のうちから一つ選べ。解答番号は [16] 。

- ア 卒業時期は3月であった
イ 生年月日が記載されていた

- ① ア—正 イ—正
③ ア—誤 イ—正

- ② ア—正 イ—誤
④ ア—誤 イ—誤

問 2 下線部分通学率が低い状況が生じた理由について、次の資料(意訳してある)からは読みと
れないものを、下の①～④のうちから一つ選べ。解答番号は 17 。

(B)

資 料

従来の寺子屋に比べれば、このごろの学校は人民の費用が10倍も多くなっている。従来の寺子屋では身分不相応にも入学した者は手習いの帳面を書いて、親類へ手紙のやりとりぐらいはできるようになった。しかし、このごろの小学校は立派で美しいとはいっても、下等小学校を卒業する前に退学するときは(このような者が多いと聞いているが)日用の便利はかえって寺子屋には及ばないことがある。また、修業時間も、今までの寺子屋ではたいてい8時から昼12時までだったが、このごろの制度では都も田舎も8時から3時までかかっていて、生徒らが家事の手伝いをする暇も無いし、かつ一年通う間で普通の休日のほかはことごとく出席しなくてはならない規則である。

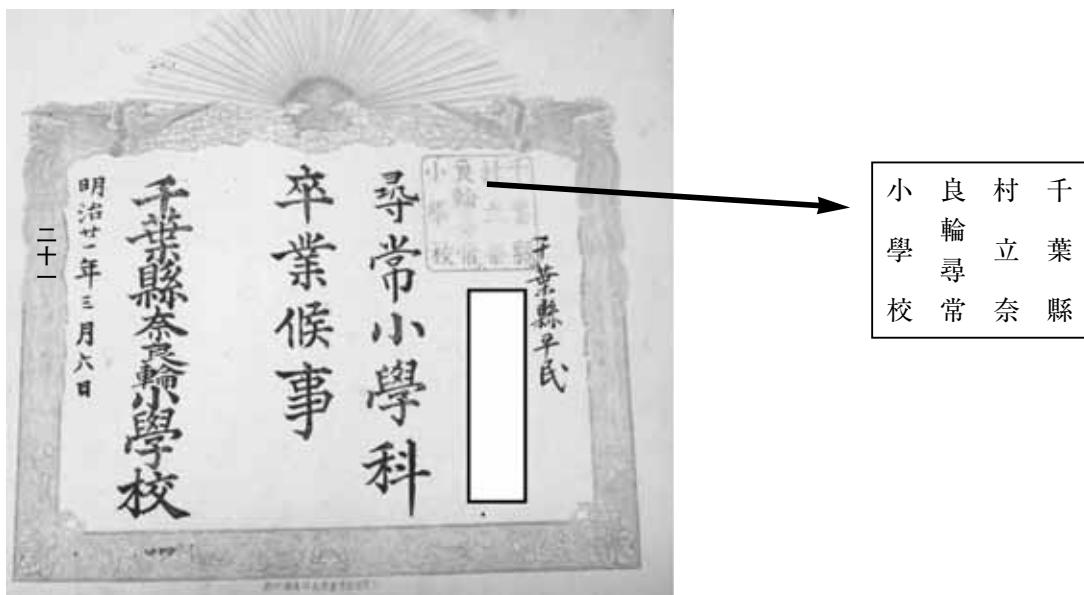
(『文部省第四年報 明治九年』により作成)

- ① 寺子屋と比べて、経済的負担が重いこと。
- ② 校舎が粗末であることに対して親の不安があったこと。
- ③ 寺子屋と比べて、教育内容が日常生活の便に役立たないこと。
- ④ 子供たちが家事手伝の^{にな}扱い手と考えられていたこと。

乙

Ⅲの卒業証書の時期を調べてみると、文部大臣の森有礼の下でいわゆる「学校令」が制定され、国家主義的な教育制度が整備されたころのものでした。Ⅲの二年後には、Bを学校教育の方針とする教育に関する勅語(教育勅語)も発布されています。小学校令について調べてみると、Ⅲにも書かれているC 小学科の4年間が原則として義務教育期間と決められたことがわかりました。

Ⅲ



問 3 B C に当てはまる語の組合せとして最も適切なものを、次の①~④のうちから一つ選べ。解答番号は18。

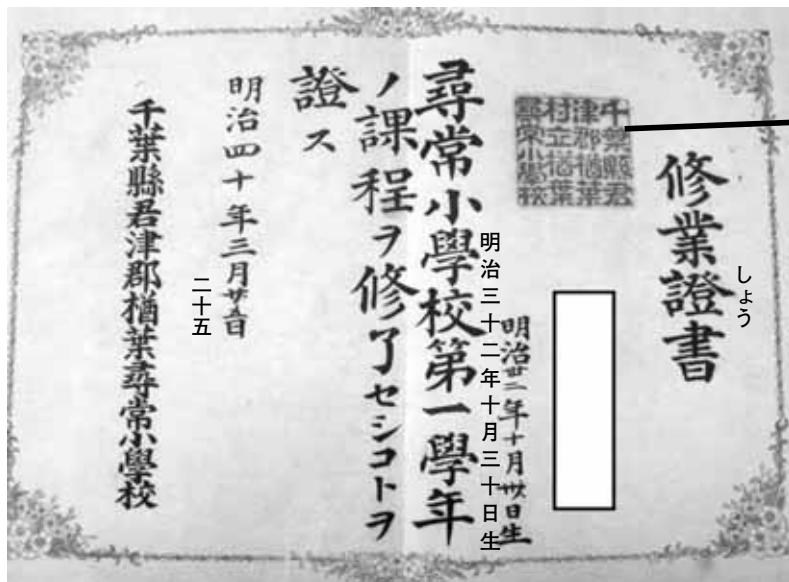
- | | | | |
|----------|------|----------|------|
| ① B—忠君愛国 | C—尋常 | ② B—忠君愛国 | C—高等 |
| ③ B—民本主義 | C—尋常 | ④ B—民本主義 | C—高等 |

丙

N・Vは同一人物の証書です。見てみると D こともわかります。また、Vの年について調べてみると、義務教育における全国の女子就学率は95%を越え、通学率も90%近くとなっていました。その背景を調べてみると、E ことによるところが大きいと考えられます。

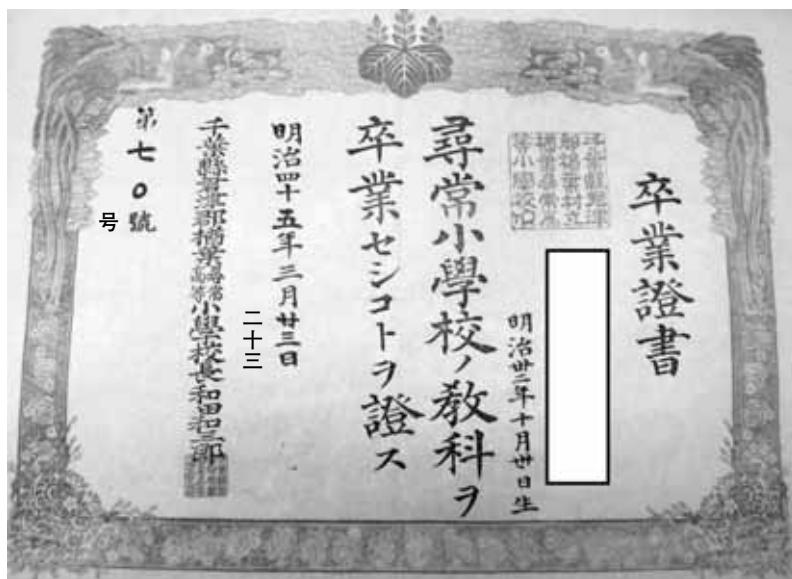
(B)

N



尋常小學校
村立
津郡
千葉縣
君
檜葉
葉

V



問 4 D E に当てはまる語句の組合せとして最も適切なものを、次の①～④のうちから一つ選べ。解答番号は 19 。

- ① D—学校印から判断して、私立の小学校の卒業証書である
E—工場法が施行されて、原則として12歳未満の者を雇用できなくなった
- ② D—学校印から判断して、私立の小学校の卒業証書である
E—小学校令の改正により、義務教育の授業料が無償化された
- ③ D—卒業年月日から判断して、義務教育期間が6年間となっている
E—工場法が施行されて、原則として12歳未満の者を雇用できなくなった
- ④ D—卒業年月日から判断して、義務教育期間が6年間となっている
E—小学校令の改正により、義務教育の授業料が無償化された

問 5 甲～丙のレポートからわかることの正誤の組合せとして最も適切なものを、下の①～④のうちから一つ選べ。解答番号は 20 。

- ア 明治期の卒業証書には常に族籍が記載されており、当時の社会階層の様子がわかる。
イ 証書の小学校名からは、郡制のような地方制度が整備されていく様子がわかる。

- ① ア—正 イ—正 ② ア—正 イ—誤
③ ア—誤 イ—正 ④ ア—誤 イ—誤

(B)

5

次の年表を参考にして、後にある各問い合わせよ。

年 表

できごと
財政政策による不況期
(a) 日清戦争
(b) 日露戦争後の恐慌期
(c) 第一次世界大戦
昭和恐慌

↑
↑
↑
↑
↑

甲
乙

問 1 下線部分財政政策による不況期の経済政策の一つに日本銀行の設立がある。日本銀行設立

(a) 後に定められた兌換銀行券条例(意訳してある)の内容として正しいものを、下の①～④のうちから一つ選べ。解答番号は 21 。

兌換銀行券条例

第一条 兑換銀行券は日本銀行条例第十四条により同銀行で発行して銀貨と交換できるものとする

第二条 日本銀行は兌換銀行券発行量に対し引き換えるよう十分な銀貨を準備すること

第四条 兑換銀行券は租税海関税其他一切の取引に支障なく使えるものとする

第七条 金銀貨を持参して兌換銀行券との交換を望む人がいるときは日本銀行本店か支店において手数料無料で交換することができる

(『法令全書』により作成)

- ① 兑換銀行券とは、銀との交換が義務付けられていない銀行券を指す。
- ② 日本銀行は銀貨の準備がなくても、兌換銀行券を発行することができる。
- ③ 兑換銀行券は国内の取引に通用するが、税金を納める際には使用できない。
- ④ 金銀貨を持参すれば、手数料無料で兌換銀行券と交換することができる。

問 2 下線部分日清戦争の後、政府と政党の提携が進むなど、関係の変化がおこった。次の資料(b)（意訳してある）は、ある政党の成立について述べたものである。その政党名として正しいものを、下の①～④のうちから一つ選べ。解答番号は **22**。

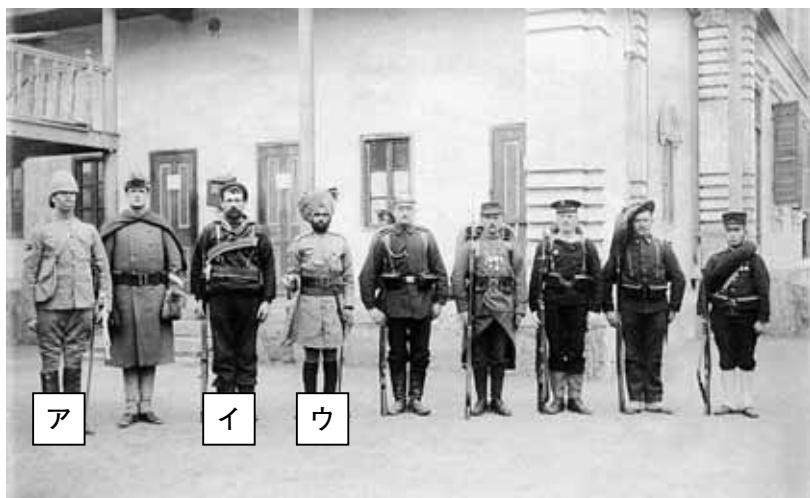
(B)

見てみよ、今や諸君はかつて我々民権派に対して退去令を発令した時に総理であった伊藤や、内務大臣であった山県たちと手を取るのだな。かつての仲間を牢獄や絞首台におくった薩長藩閥のリーダーである伊藤博文を党首に迎えるとは…なにごとだ！

- ① 日本社会党 ② 立憲政友会 ③ 立憲改進党 ④ 自由民主党

問 3 次の写真は甲の期間におこったある事件に関するものである。太郎さんと花子さんの会話文の **A** **B** に当てはまる語の組合せとして正しいものを、下の①～④のうちから一つ選べ。解答番号は **23**。

写 真



太郎さん：この写真は、義和団事件の際に出兵した連合国軍の兵士を写したものですね。

花子さん：写真中 **ア** の国の植民地である **ウ** からも派兵されていたんですね。

太郎さん：そうですね。この時は日本と **イ** の国の軍が連合国軍の主力として活躍しました。その結果 **イ** の国は事件後中国東北部を事実上占領してしまいます。

花子さん：それは日本にとって、大きな脅威ですね。

太郎さん：日本以外にも **イ** の国の **A** に危機感を抱いていた **ア** の国は、日本と協力して **イ** の国に対抗しようと考え、のちに **B** を締結するに至りました。

- ① A—孤立政策 B—日露協商 ② A—孤立政策 B—日英同盟
③ A—南下政策 B—日露協商 ④ A—南下政策 B—日英同盟

問 4 下線部分日露戦争後の恐慌期の社会情勢についての説明として正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。解答番号は 24。

- ① 戦後の賠償金を資本とした産業の活性化によって恐慌からもち直し活気を取り戻した。
- ② 恐慌に加えて、講和条約後獲得した領土を返還することになり、国民の憤りが高まった。
- ③ 恐慌の中、戦後の無気力感から国民間に個人主義や享楽的傾向が広まり風紀が乱れた。
- ④ 世界的な恐慌に対して有効な政策を打ち出せない政治家と軍部の対立が顕著になった。

問 5 乙の期間の日本の経済情勢について説明した文ア～ウを、年代の古い順に正しく並べたものを、下の①～④のうちから一つ選べ。解答番号は 25。

- ア 戦中に欧米諸国への輸出やアジア市場への輸出が増えて、日本は好景気になった。
- イ 関東大震災後の震災手形の処理をきっかけとして金融機関が混乱に陥り、倒産が相次いだ。
- ウ 戦後、それまでの好景気の反動から経済が停滞し、天災の被害も相まって不況に陥った。

- ① ア→イ→ウ
- ② ア→ウ→イ
- ③ ウ→イ→ア
- ④ ウ→ア→イ

(B)

6

次の資料1は、満州事変開始直後、東洋経済新報社にいた石橋湛山が、「社説」に書いたものである。資料1を読み、後にある各問い合わせよ。

資料1(意訳してある)

例えば満州を領有しようと考える人々は、我国は人口が多く、土地は狭いから、ぜひそのはけ口を中国大陸に求めなければならないと説くのだが、しかし人口問題は、領土を広げたからと言って解決はできない。我国は、明治27、8年の戦争以降、台湾、朝鮮^(a)、樺太を領土に加え…(中略)その結果は全く人口問題の解決に役立っていない。(中略)そして我国には、鉄、石炭^(b)等の原料が乏しいから、満蒙の地を、その供給基地として我国に確保することが、国民経済^(c)上必要であることを唱える。これも現在までの事実においては、全く違う。(中略)もし何の代償もなしに、満蒙に支配的地位が占められるのであれば、もらっておいても悪くはないかもしれない。しかし満蒙は、いうまでもなく、無償で我が欲せられるものではない。少なくとも感情的に中国国民を敵に回し、ひいては世界列国を敵に回し、それでも我がはこの取引に利益があろうか。

(石橋湛山著/石橋湛山全集編纂委員会編『石橋湛山全集 第八巻』東洋経済新報社により作成)

問1 資料1から読み取れることとして適切でないものを、次の①～④のうちから一つ選べ。

解答番号は **26**。

- ① 明治時代以降、日本は自国の領土を拡大してきたことが記されている。
- ② 満州には、広大な土地や多くの資源があることが、進出の理由とされた。
- ③ 日本の満州進出には、中国国民は反発するが、それ以外の国は反発しないと予想されている。
- ④ 石橋湛山は、「社説」の中で日本の満州進出に対して批判的である。

問2 下線部分朝鮮に関して、この資料1が書かれたとき以降の日本と朝鮮半島との関係について、適切でないものを、次の①～④のうちから一つ選べ。解答番号は **27**。

- ① 朝鮮では、日本式の氏名に変えさせる創氏改名や徴兵制度が行われた。
- ② 関東大震災の際には、多くの朝鮮人が流言などによって殺害された。
- ③ 朝鮮半島でおこった戦争の影響で、日本では特需により景気が上向いた。
- ④ 日韓基本条約にて、大韓民国と日本は国交を樹立した。

問 3 下線部分石炭に関して、写真について説明した下の文章の A B

(b) に当てはまる語句の組合せとして最も適切なものを、下の①～④のうちから一つ選べ。

解答番号は 28。

(B)

写 真



写真は A に、 B ため、政府の方針を受けて石炭の増産を会社の正門に掲げたものである。

- | | |
|-----------|-------------------|
| ① A一日中戦争中 | B一燃料や民需物資を増産する |
| ② A一日中戦争中 | B一次の戦争に使用する資源を蓄える |
| ③ A敗戦直後 | B一燃料や民需物資を増産する |
| ④ A敗戦直後 | B一次の戦争に使用する資源を蓄える |

問 4 下線部分国民経済について、図と資料2を説明した下の文章の C D
に当てはまる語句の組合せとして最も適切なものを、下の①～④のうちから一つ選べ。
解答番号は 29。

図(点数は、昭和18年に改訂されたときのものである)



資料2

衣料切符は原則として、郡部で一人当たり一律80点、都市部で100点分が支給された。この点数の差はその生活様式の違いが理由とされた。各衣料品には図のように点数が定められており、人々は自分の持ち点の中での衣料の購入が求められた。切符の有効期間は原則として1年で、この割当点数には年齢、性別、職業などによる差異はなかったとされる。

衣料切符制は、 C ために実施されたものであった。しかし、国民への供給は十分とは言えず、 D 部では背広とワンピースと一緒に買うことはできなかつたことがわかる。

- | | |
|--------------------|-------|
| ① C—物資をなるべく均等に分配する | D—都 市 |
| ② C—物資をなるべく均等に分配する | D—郡 |
| ③ C—海外への輸出を増やす | D—都 市 |
| ④ C—海外への輸出を増やす | D—郡 |

問 5 石橋湛山が総理大臣となった後の国際社会との関わりについて述べた文ア～ウを、年代の古い順に正しく並べたものを、下の①～④のうちから一つ選べ。解答番号は **30** 。

(B)

- ア PKO(国連平和維持活動)協力法の成立によって、自衛隊がカンボジアで活動をした。
イ 高度経済成長のさなか、OECD(経済協力開発機構)に加盟した。
ウ 世界で最初の先進国首脳会議(サミット)に参加した。

- ① イ→ウ→ア ② イ→ア→ウ ③ ウ→ア→イ ④ ウ→イ→ア

